

2005年4月改訂（第3版）

外用殺菌消毒剤 日本薬局方

オキシドール「タカスギ」

Oxydol

日本標準商品分類番号	872614
承認番号	16100AMX01325
薬価基準収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1983年4月

貯法：遮光した気密容器で、30℃以下で保存すること。

使用期限：製造後3年間

【禁忌】（次の部位には使用しないこと）
瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

【組成】

本品は過酸化水素（ H_2O_2 ）2.5～3.5w/v%を含有する。安定剤としてフェナセチンを含有する。

【性状】

本品は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンようのにおいがある。
放置するか、又は強く振り動かす時、徐々に分解する。光によって変化する。
pH：3.0～5.0 比重（20/20℃）：約1.01

【効能・効果】

1. 創傷・潰瘍の殺菌・消毒
2. 外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症
3. 口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄、口内炎の洗口

【用法・用量】

1. 創傷・潰瘍：原液のままあるいは2～3倍希釈して塗布・洗浄する。
2. 耳鼻咽喉：原液のまま塗布、滴下あるいは2～10倍（耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する）希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
3. 口腔：口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の清浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。

【使用上の注意】

1. **重要な基本的注意**
長期間又は広範囲に使用しないこと。
2. **副作用**
本剤は、使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
 - 1) 重大な副作用
空気塞栓：空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 2) その他の副作用
口腔：連用により口腔粘膜を刺激することがある。
3. **適用上の注意**
 - 1) 外用にのみ使用し、内服しないこと。
 - 2) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
 - 3) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
 - 4) 深い創傷に使用する場合の希釈液としては注射用蒸留水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
4. **その他の注意**
長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

【薬効薬理】

使用濃度において細菌に有効であるが、その作用は緩和で持続性はない。
発泡による機械的清浄化作用がある。

【取扱い上の注意】

1. 使用後は密栓し、小児の手の届かない所に保管して下さい。
2. 保存中に容器内の内圧が高くなっていることがありますので、瓶口に顔をむけないようにして、キャップをあけて下さい。

【包装】

500mL

製造販売元
高杉製薬株式会社
福岡県糟屋郡粕屋町仲原2617
電話：092-621-1231 FAX：092-621-6269